

VOL.5 2025年 [cofi.or.jp](http://cofi.or.jp)

# カナダ産木材 建築 CASE STUDY

## カナダツガ羽柄材を内装用パネルに加工 建物内をぬくもりのある快適な空間に

木造建物の主要材料のひとつとして日本の建築を支えるカナダツガ。福島県いわき市小名浜はカナダツガ羽柄材生産の一大拠点です。資源を余すところなく利用する狙いで、同地で生産されるカナダツガ製材の新たな用途を開拓する試みが行われています。カナダツガの優れた特性を活かし、建物の価値を高める内装用パネルが開発されました。



▲羽柄材として製材されたカナダツガ 45mm 角をモルダー加工し、同じくカナダツガ胴縁でジョイントして内装用パネルに成形しました。白木のカナダツガならではのやさらかな雰囲気空間にわたかみを与え、意匠的にも優れています。

## 建物の安全度を高めるカナダツガ羽柄材

建物には柱や梁といった構造材に加えて、下地材など様々なサイズの木材が使われます。羽柄材と呼ばれる断面が小さい木材で、使われる場所によって多くのサイズが求められます。多品種であること、断面が小さいので節などが目立ちやすいことなどから、生産には細かな配慮が必要となります。カナダツガを原料とした質の高い羽柄材を生産している国内最大規模の製材工場が、福島県いわき市小名浜にある共力（株）です。

同社は、あらかじめカナダで製材・乾燥させた原板という半製品を輸入し、必要とされるサイズに再割製材する方法を日本で初めて確立しました。原板を豊富にストックし、大量生産が可能で能力の高い羽柄材専用の製材機械を使用するので、安定供給を行う体制が整っています。お客様の注文に従って製材し、品質をチェックしてから出荷するため、ロスが出ない高品質の羽柄材として人気があります。

カナダツガ材の強みは、強度と釘保持力にあります。高い強度と釘がよく利くことの相乗効果で、屋根や床、壁の安全度を高めます。ツガ材が使われている既存建物は多く、リフォームの際に相性がよく安心感がある同じカナダツガを使うケースも増えています。「カナダツガはヤング係数が高く、釘の利きがいい木材です。オーダーをいただいてから結束し、必要な量を必要な時に発送していますので、安心してお使いいただけます」と同社の飯部慎一社長は話します。

### 共力株式会社

福島県いわき市小名浜字芳浜 11-68

電話：0246-92-3555

HP：[www.kyoriki.com](http://www.kyoriki.com)

### 株式会社 木の力

福島県いわき市小名浜字芳浜 11-68

電話：0246-38-6692

HP：[kinochikara.jp](http://kinochikara.jp)



▲再割製材後に厳しく品質をチェックします。



▲細かな点まで気を配ったカナダツガ羽柄材です。

## カナダツガ羽柄材から内装用パネルを開発

カナダツガが好まれる理由のひとつに、おだやかな見た目の白い木肌が挙げられます。このカナダツガの木肌を内装材として活用し、住宅の商品価値を高める取り組みを行っているのが、同じいわき市にある住宅ビルダーの（株）木の力です。羽柄材としての基準を満たさないカナダツガ製材を加工し、新しい発想で付加価値のある内装用パネルを開発しました。

材料はカナダツガ 45mm 角です。垂木などに使用されるカナダツガ羽柄材の代表的なサイズですが、製造の過程で節や丸身が入った規格外の木材も多く出てきます。これらの木材は、杭木や梱包材、フリー板に再加工し、それぞれ高品質の製品として好評を博していますが、使いきれない分は最終的にチップや燃料にしています。規格外木材の有効活用を模索するうち、出荷できないカナダツガ 45mm 角を同じく規格外のカナダツガ胴縁でジョイントしていき、幅 30cm・4m 長のパネルにするアイデアにたどり着きました。45mm 角の隅を削ると、凹凸の陰影が味わい深い内装用パネルに仕上がりました。

## 空間の質を高める高機能内装材

独特の凹凸の形状と、比重が高く硬いというカナダツガの特性から、このパネルを張った空間は適度な残響によって音響環境が向上するという効果が得られます。やわらかな白木のカナダツガの表情は、節があってもすっきりとしていて、意匠的にも優れています。これらの特徴を活かし、新築・リフォーム、構造や用途を問わず施工できる内装材・ログブリッドパネルとして商品化しました。

新築やリフォームにログブリッドパネルを利用することで、木のぬくもりが感じられ、部屋の音響環境が向上するなど、建物の商品力を高められます。「注文住宅と比べて中古や建売は販売価格が抑えられますが、ログブリッドパネルによって木に囲まれた住宅として差別化することができます」と同社の志賀正敏社長。自社が扱う住宅の魅力を高めるためにログブリッドパネルを活用していく考えです。カナダツガ製材には内装材として使えるほどのポテンシャルがあり、新たな活用方法として注目されます。



▲ 中古住宅のリフォームで、既存壁の上からログブリッドパネルを施工しました。音が反響しやすい吹き抜けて良好な音響環境を実現します。



▲ 木の力では、ログブリッドパネルをより扱いやすい 70cm 四方にユニット化した音響パネル「アコースティックパネル」を開発中です。組み立て作業は同じいわき市内で賃金向上に取り組む就労継続支援 B 型事業所の i-step works に発注しています。

